

## 文部省検定教科書を NACSIS-CAT に登録する際の問題点について

鳴門教育大学

田中 孝次

### 1. はじめに

当館では現在、戦後の文部省検定教科書(以下、単に「教科書」と呼ぶ)の NACSIS-CAT への書誌登録を進めている。しかし現在、教科書の登録を積極的に進めている館は当館の他は数館だけである。今年7月に行われた「平成10年度(第29回)全国国立教育系大学附属図書館協議会研究部会」において、当館は承合事項として「教科書及び指導書の目録、分類及び配架について」提案したが、NACSIS-CAT への書誌登録には多くの館が消極的であった。消極的な館の意見として、「教科書」という属性をもとにした検索が出来ない、あるいは現行教科書については ILL の必要性がない、などがあつた。これらの問題は確かに重要であり、教科書の書誌登録を進まなくしている要因である。それ以外の重要な問題として、教科書は NACSIS-CAT の登録基準に合わない面があることがあげられる。実際、当館も書誌登録を進めていく際に多くの問題に直面し、そのたびに学術情報センターや書誌登録をしている他館と協議しながら登録作業を進めているのが実状である。そこでこのレポートでは、教科書を NACSIS-CAT に登録する際に問題となる点を取りあげ、実際の書誌も交えて検討していきたい。

### 2. 検定年に関する扱い

教科書には文部省検定制度があり、検定を受けた教科書には「平成 年 月 日 文部省 検定済」の表示(以下、「検定年」と呼ぶ)がある。この表示は、資料の同定や最初の発行年を推定するうえで有効な情報である(教科書によっては、印刷・発行年の記載が毎年変わっているため、最初の発行年が容易に判別できないものがある。この時、検定年の表示があれば、検定年の翌年であると推定できる)。この検定年に関する問題を検討してみよう。

まず、検定年を記述するフィールドをどうするかである。現在書誌登録を進めている館のほとんどが採用しているのは、図1にみられるように NOTE に記録する方法である。これは、現在のところ検定年を問題なく扱えるフィールドが他にないためである。しかし、この方法では検定年が検索の対象にならない、あるいは簡略書誌画面に表示されない(教科書はその性質上同一の書名や著者名になることが多く、検定に関する情報がないと、簡略書誌画面から特定のものを探し出すのに苦労する)といった問題がある。ただこれについては、別の手段で解決を試みている書誌もある。詳細は「3. 教科書番号に関する扱い」でみ

ていきたい。

次に、検定年と書誌レコード作成単位との関係である。図 1 と図 2,3 を見てもらいたい。図 1 では異なる検定年の'3'が同一書誌にまとめられているのに対して、図 2,3 では同一(同時期)の検定年のみで書誌を作成している。これは、検定年を「異なる内容で同一名の巻冊次を識別するためだけの意味(つまり、別書誌を作成する根拠とならない)」にとらえるか、「版の変更などのような、内容の変更を伴うもの(別書誌を作成する根拠となる)」とみるかの違いからきているものと思われる。現在登録されている書誌は図 2,3 の形式が多いようであるが、検定年に関する扱いは必ずしも一致していない。検定年と書誌レコード作成単位との関係について、統一的な見解が望まれる。なお、私自身は、小・中学の教科書については「検定年が同時期でないものは別書誌を作成すべき」と考えている。その理由は、検定による内容の変更は、一般図書の「版の変更」に相当すると思われること。異なる検定期の教科書を同一書誌にまとめてしまうと、それぞれの巻冊次と検定年との対応関係がわかりにくくなってしまうこと。ある特定の巻冊次の所蔵館を調べようとするときに、VOL が多すぎたり、同一名の巻冊次が複数あったりするのは不便であること。と思われるからである。

### 3. 教科書番号に関する扱い

検定を受けた教科書には、奥付などに「算数 111」といった記号・番号が表記されている(以下、「教科書番号」と呼ぶ)。検定年とともに、教科書の同定に重要な役割を果たしているものである。検定年が各館同じ記述であるのとは対照的に、教科書番号についてはその記述にいろいろな形式がみられる。これは、検定年による資料の同定が行いにくいので、教科書番号を使って資料の同定をしやすくしよう、という試みによるものである。ここでは、それぞれの記述の形式と、そのメリット・デメリットについて検討していきたい。

#### 図 2：教科書番号を NOTE に記録する形式

検定年と同様、教科書番号も問題なく扱えるフィールドは他になく、したがって NOTE に記録するのは、現在の規則にもっとも忠実な方法であるといえる。しかし、検定年の箇所でも述べたように、こちらも検索・簡略表示の対象とならないという欠点を持っている。

#### 図 3：教科書番号を VOL の後に括弧書きで記録する形式

当館が採用している形式である。

図 2 の形式と比較して、簡略書誌画面に教科書番号が表示されるため、資料の同定が行いやすい(当館がこの形式を採用しているのは、主としてこの理由による)、巻冊次と教科書

番号との対応がわかりやすい、といったメリットがある。

ただし、図 2 の形式と同様、こちらも検索の対象にはならない。また、記述形式が一貫できないというデメリットもある。どういうことか、具体的にみていこう。

教師用指導書には採用しにくい ... これについては「6. 指導書の書誌作成について」で後述する。

巻冊次のない資料についての記述にゆれがある ... 当館では巻冊次のない資料の教科書番号は VOL ではなく NOTE に記録している(図 5 を参照)。これは、「括弧書きは巻冊次を補助するための記録」という考えだからである。しかし、「簡略書誌画面に教科書番号が表示される」というこの形式のメリットは弱くなってしまう。一方、括弧書きだけを VOL に記録している書誌もある(図 6 を参照)。教科書番号それ自体を巻冊次(あるいはそれに近いもの)と考えるとこの記述も有力であるが、教科書番号を巻冊次と同様にみなしてよいか、意見の分かれるところではないだろうか。

#### 図 4：教科書番号を VT に記録する形式

この形式のメリットは、「教科書番号で検索が可能になる」ことである。前述したように、教科書は同一の書名や著者名の本が多いため、このメリットはたいへん大きい。

考えられる問題点として、

図 4 のように、VT に教科書番号があるというだけでは巻冊次と教科書番号との対応関係がわかりにくく、不都合を感じるかもしれない。NOTE に記録するか、VT の書き方に工夫が必要となる。

VT は「その他のタイトル」を記録するためのフィールドであるが、教科書番号が「その他のタイトル」に該当するのか、疑問を持つ館もあると思われる。この形式を標準とするためには、参加館の合意形成が必要ではないだろうか。

教科書番号は記述する適当なフィールドがないため、現在の規則に忠実に従うと図 2 の形式になってしまうが、これでは検索・表示の対象とならず、不便である。それを現行の規則の範囲内で補おうとしたのが図 3,4 の形式であるが、これはこれでまた別の問題を抱えてしまっている。しかし、図 2 の形式のままでは、教科書の書誌数の増加にしたがって、資料の同定に支障をきたす場面が増加することが予想される。図 3,4 の形式あるいは別の方法で、書誌の検索・表示を便利にする何らかの工夫は必要であろう。

#### 4. タイトル表記や形態が巻冊次によって異なる資料

小学校の教科書では、例えば 1,2 年生用は標題を「しょうがくさんすう」などと表記し、それ以外のものは「小学算数」となっているものがある。こういった資料は標題だけでなく、高さも数センチ(5cm 程度)違っていることが多い。こうした資料についてはどのような書誌作成をしているのだろうか。

もういちど図 2-4 を見ていただきたい。現在よくみられる形式の書誌である。この形式のポイントは以下ようになる。特に が重要である。

同一(同時期)の検定年で同一科目の資料については同一書誌にまとめている。

(標題や高さの違いで別書誌を作成していない)

最初の巻冊次にある標題を TR に入力し、それ以外の標題を VT に入力している。

高さの違いは、PHYS にハイフンでつないで記録している。

しかし、館によっては「タイトル表記も高さも(2cm 以上)異なっている以上、別書誌を作成すべき」と考えるかもしれない(実際、当館でも意見の分かれているところである)。将来各館によって記述のゆれがでないよう、見解の統一が望まれる。

## 5. 高校の教科書固有の問題について

最近の高校の教科書は小・中学のものと異なり、各科目が細分化している。これを教科書の観点からみると、以下の点が異なってくる(例として「数学」を示す)。

「数学 I」などの'I'の扱いが異なってくる。小・中学においては、「数学」という科目を学年別に分割したものの 1 つを意味するが、高校では「数学 I」それ自体で 1 つの科目名になっている。

小・中学では同時期に使用される「数学」の検定年は概ね同じ日になっているが、高校では同時期に使用される「数学」であっても'I'と'II'では検定年の月日が異なる。検定期や教科書によっては 1 年の差があることもある。

この 2 つの相違点が書誌作成にどのような影響を与えるか、検討していきたい。

図 7 を見ていただきたい。小・中学でよくみられるものと同様の形式で記述した書誌である。この書誌では VOL に I と A の 2 つしか記録されていないが、現在数学には I,II,III,A,B,C の 6 つの科目があり、それぞれ検定年が異なっている。この検定年が図 7 のようにほぼ同時期であればよいが、1 年の差があると教科書は次のように発行されていくことになる(数学 I,II,III の 3 つだけを例にとる)。

							...	年の区切り(1 区切りで 1 年を表わす)
I:	A	-----	→	A'	-----	→	...	途中で新しく検定があった(A A')
II:		B	-----	→				
III:			C	-----	→			

ここで、A と A' の 2 つに別書誌を作成できる程度の相違点があれば A,B,C と A' は別書誌とできるが、もし検定年や教科書番号、出版年以外の(書誌データに)相違点がなかったとしたらどうなるだろう。A',B,C や、A,B,C,A' を「同時期の教科書」として同一書誌にまとめてしまうことにならないだろうか。このように、高校の教科書を小・中学のものと同様に「同時期の教科書」でまとめようとする、その「同時期」というのをどうとらえるかが

問題となる。現在のところ、A と A'には何らかの相違点がある事が多いのでこのようなケースになることはほとんどないが、今後問題となる可能性はある。対策として、

このようなケースは同一書誌にまとめてしまう。

検定年を厳密に解釈し、同時期でないもの(案として、1日でも違うもの、あるいは同年度でないものなど)は別書誌とする。

などが考えられるが、 の場合、小・中学の教科書との整合性がとれない、異なる検定年のものが同一書誌に入ってしまう、巻冊次と検定年との対応関係がわかりにくくなる、類似の巻冊次が増えるため、所蔵館の所蔵状況がわかりにくくなる、などが問題になる。

だと、VOL が1つだけの多巻ものが多くできてしまう、例えば、I と III が同一書誌に入ると II は別書誌となるなど、不自然な書誌作成になる場合がある、同時期に使われた複数の科目の教科書をいちどに検索しにくくなる、といったことが考えられる。いずれにしても、「同時期」をどう解釈するのか(あるいは「同時期」という考えを撤廃するのか)、そのあたりをきちんとしておかないと、記述にゆれが出てくる危険性があるだろう。

そもそも、「数学 I」などのIを巻冊次ととらえる以外の考え方はできないだろうか。前述したように、「数学 I」はそれ自体が1つの科目名である。この考えからすると、「数学 I」のIは書名の一部、つまり TR に記述されるのが適当ということになる。実際、そのように記述している書誌もある。この方法だと、ほとんど物理単位で書誌が作成されるため、「同時期の検定年」をどうするか考える必要がない。ただ、「同時期に使用された数学 I と II」を同時に検索・表示するのが難しくなるというデメリットが発生する。

高校の教科書に関しては、「数学 I」といった形で TR に記録するのが自然で無理がないように思われる。図 7 の方法には、書誌をまとめられる、表示もいちどにできるというメリットはあるが、この方法を採用する場合、前述したように書誌レコード作成単位をどうするか、はっきりさせておく必要があるだろう。

## 6. 指導書の書誌作成について

最後に、教科書の教師用指導書(以下、「指導書」と呼ぶ)を書誌作成する際の問題点について検討していきたい。

指導書は、特定の人(教員)が特定の条件下で使用(準拠する教科書と一緒に使用)することを前提としたつくりであるため、書誌事項の簡略なものが多い。具体的には、発行年のないものがある、十数年にもわたって書名や編者が同じである(「小学校国語学習指導書」、「～出版編集部編」など)、教科書番号以外に準拠する教科書を特定する情報が無い、などとなっている。そのため、指導書は「準拠する教科書の情報に頼らないと資料の同定に十分な書誌作成は困難な状態」となっている。このため、準拠する教科書の検定年や教科書番号などを書誌に記録していくことになるが、ここでも問題が発生する。

図 8 を見ていただきたい。これは当館が作成した書誌であるが、教科書で当館が採用している、VOL:3 上(社会 311)といった記述をせず、教科書番号を NOTE に記録している。その理由は、「指導書に表記されている教科書番号は、準拠する教科書の番号であって、指導書それ自体の番号ではない」と考えたからである。このように、せっかく準拠する教科書の情報を記録して検索・表示を便利にしようとしても、指導書それ自体の情報ではないため、教科書と同様の記述がしにくい、あるいは NOTE に参考の情報として記録されるにとどまる、ということになる。

指導書はその書誌情報を準拠する教科書に頼るところが大きい。また、準拠する教科書と一緒に使われて価値のある資料である。そこで、準拠する教科書の情報を、指導書それ自体の情報のように扱うのはどうだろうか。このようにすれば、例えば VOL や VT に教科書番号を記録して、検索・表示を便利にするといったことも考えられるし、将来教科書の書誌作成のルールが定まったときに、指導書にも同様の記述をしやすくなるであろう。ただ、指導書に書かれていない情報まで書誌に記録し、指導書に書いてあるかのように扱うことには慎重になるべきである。準拠する教科書のどの情報をどのような条件で扱っていくのか、検討が必要になるだろう。そこで一つの案として、

準拠する教科書の情報は、検定年、教科書番号、発行年(指導書自体に記載のない場合)に限り、指導書それ自体の情報と同様に扱ってよい。

上記の情報で、指導書に記載されていないが判別できたものについては[]で囲って記録し、記載されていた情報と区別する。そして、NOTE に準拠した教科書の情報を利用したことを記録する。

それ以外の情報については、NOTE に記録する。

を示しておきたい。

## 7. まとめ

以上、いろいろ述べてきたが、問題の多くは「教科書の特殊事情を考慮した規則が存在しない」ということに起因する。このため、参加館によって、書誌に記述のゆれが生じている。特に、「2. 検定年に関する扱い」や「5. 高校の教科書固有の問題点について」でとりあげた事例は、書誌レコード作成単位に関わる重要な問題である。また、本レポートで述べたこと以外にも、いくつもの問題が教科書には存在している。参加館の話し合い等で、問題点を整理し、何らかの規則を作成していくことが必要ではないだろうか。

## <参考文献>

平成 10 年度(第 29 回)全国国立教育系大学附属図書館協議会研究部会承合事項 (当番館 : 愛知教育大学, 期日 : 平成 10 年 7 月 16-17 日)

【 図 1 】

<BN12457392>  
 CRTDT:19950515 CRTFA:FA013866 RNWDT:19970526 RNWFA:FA002531  
 GMD: SMD: YEAR:1994 1997 CNTRY:ja TTL:jpn TXTL:jp ORGL:  
 VOL:3(国語 905) ISBN: PRICE:  
 VOL:1(国語 710) ISBN: PRICE:  
 VOL:2(国語 810) ISBN: PRICE:  
 VOL:3(国語 910) ISBN: PRICE:  
 TR:国語 / 栗原一登[ほか]著||コク  
 PUB:東京 : 光村図書出版 , 1994-1997  
 PHYS:4冊 ; 21cm  
 NOTE:国語 905: 平成 4 年 2 月 29 日 文部省検定済 中学校国語科用[教科書]  
 NOTE:国語 710, 国語 810, 国語 910: 平成 8 年 2 月 29 日 文部省検定済中学校国語科用[教科書]  
 AL:栗原, 一登(1911-)||クハラ, カト <DA0889740X>  
 CLS:NDC8:375.9

【 図 2 】

<BN1481871X>  
 CRTDT:19960821 CRTFA:FA002531 RNWDT:19960925 RNWFA:FA003341  
 GMD: SMD: YEAR:1996 1996 CNTRY:ja TTL:jpn TXTL:jp ORGL:  
 VOL:1 ISBN: PRICE:  
 VOL:2 上 ISBN: PRICE:  
 VOL:2 下 ISBN: PRICE:  
 VOL:3 上 ISBN: PRICE:  
 VOL:3 下 ISBN: PRICE:  
 VOL:4 上 ISBN: PRICE:  
 VOL:4 下 ISBN: PRICE:  
 VOL:5 上 ISBN: PRICE:  
 VOL:5 下 ISBN: PRICE:  
 VOL:6 上 ISBN: PRICE:  
 VOL:6 下 ISBN: PRICE:  
 TR:新編あたらしいさんすう / 広中平祐ほか著||シハ°ン アラシイ サス  
 PUB:東京 : 東京書籍 , 1996  
 PHYS:冊 ; 21-26cm  
 VT:OH:新編新しい算数||シハ°ン アラシイ サス  
 NOTE:1,2 上・下,3 上・下: 平成 7 年 1 月 15 日 文部省検定済小学校算数科用  
 NOTE:4 上・下,5 上・下,6 上・下: 平成 7 年 1 月 31 日 文部省検定済小学校算数科用  
 NOTE:教科書の記号・番号: 1 :算数 113, 2 上 :算数 213, 3 上 :算数 313, 4 上 :算数 413, 5 上 :算数 513,  
 6 上 :算数 613  
 NOTE:教科書の記号・番号:2 下 :算数 214, 3 下 :算数 314, 4 下 :算数 414, 5 下 :算数 514, 6 下 :算数 614  
 NOTE:2 上・下, 3 上・下, 4 上・下, 5 上・下, 6 上・下の書名: 新編新しい算数  
 AL:広中, 平祐(1931-)||ヒロカ, ハイカ <DA00189461>

【 図 3 】

<BN1498979X>  
 CRTDT:19960925 CRTFA:FA002586 RNWDT:19961218 RNWFA:FA002586  
 GMD: SMD: YEAR:1992 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:  
 VOL:1(算数 101) ISBN: PRICE:  
 VOL:2 上(算数 201) ISBN: PRICE:  
 VOL:2 下(算数 202) ISBN: PRICE:  
 VOL:3 上(算数 301) ISBN: PRICE:  
 VOL:3 下(算数 302) ISBN: PRICE:  
 VOL:4 上(算数 401) ISBN: PRICE:  
 VOL:4 下(算数 402) ISBN: PRICE:  
 VOL:5 上(算数 501) ISBN: PRICE:  
 VOL:5 下(算数 502) ISBN: PRICE:  
 VOL:6 上(算数 601) ISBN: PRICE:  
 VOL:6 下(算数 602) ISBN: PRICE:  
 TR:あたらしいさんすう / 前原昭二ほか著||アタシ サス  
 PUB:東京 : 東京書籍 , 1992  
 PHYS:11 冊 ; 21-26cm  
 VT:OH:新しい算数||アタシ サス  
 NOTE:平成 3 年 1 月 31 日 文部省検定済教科書 小学校算数科用  
 AL:前原, 昭二(1927-1992)||マハラ, ショウジ <DA00157396>

【 図 4 】

<BN10892492>  
 CRTDT:19940701 CRTFA:FA002564 RNWDT:19950811 RNWFA:FA002564  
 GMD: SMD: YEAR:1965 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:  
 VOL:1 ねん ISBN: PRICE:  
 VOL:2 ねん上 ISBN: PRICE:  
 VOL:3 年上 ISBN: PRICE:  
 VOL:4 年上 ISBN: PRICE:  
 VOL:5 年上 ISBN: PRICE:  
 VOL:6 年上 ISBN: PRICE:  
 TR:新編あたらしいさんすう / 彌永昌吉[ほか]編||シパノ アタシ サス  
 PUB:東京 : 東京書籍 , 1965  
 PHYS:6 冊 ; 21cm  
 VT:VT:OH:新編新しい算数||シパノ アタシ サス  
 VT:VT:算数 1021  
 VT:VT:算数 2033  
 VT:VT:算数 3033  
 VT:VT:算数 4033  
 VT:VT:算数 5033  
 VT:VT:算数 6033  
 NOTE:文部省検定済教科書  
 NOTE:4 年上,5 年上,6 年上の書名:新編新しい算数  
 AL:彌永, 昌吉||ヤカガ, ショウジ <

【 図 5 】

<BA35889951>  
 CRTDT:19980605 CRTFA:FA003341 RNWDT:19980615 RNWFA:FA003341  
 GMD: SMD: YEAR:1998 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:  
 VOL: ISBN: PRICE:  
 TR:国語表現 / 林巨樹 [ほか] 著||コトク ヒョウゲン  
 PUB:東京 : 東京書籍 , 1998.2  
 PHYS:160p, 函版 ; 21cm  
 NOTE:平成 9 年 2 月 28 日 文部省検定済教科書 高等学校国語科用  
 NOTE:教科書の記号・番号: 表現 509  
 AL:林, 巨樹(1924-)||ハヤシ, 材 <DA00560140>

【 図 6 】

<BN13933122>  
 CRTDT:19960307 CRTFA:FA013866 RNWDT:19960307 RNWFA:FA013866  
 GMD: SMD: YEAR:1990 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:  
 VOL:(化学 040) ISBN: PRICE:  
 TR:高等学校新選化学 / 坪村宏[ほか]著||コトク ガツク シンケン カク  
 ED:改訂版  
 PUB:大阪 : 啓林館 , 1990.12  
 PHYS:8,312p ; 21cm  
 VT:VT:化学||カク  
 NOTE:昭和 60 年 3 月 31 日 文部省検定済 高等学校理科用[教科書] 昭和 63 年 3 月 31 日 改訂検定済  
 AL:坪村, 宏(1927-)||ツムラ, ヒロシ <DA00695048>  
 CLS:NDC8:375.9

【 図 7 】

<BA35765030>  
 CRTDT:19980528 CRTFA:FA002531 RNWDT:19980529 RNWFA:FA002531  
 GMD: SMD: YEAR:1998 CTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:  
 VOL:1 ISBN: PRICE:  
 VOL:A ISBN: PRICE:  
 TR:高等学校新編数学 / 井川満[ほか]著||コトク ガツク シハン スガク  
 ED:改訂版  
 PUB:東京 : 数研出版 , 1998.1  
 PHYS:2 冊 ; 21cm  
 VT:VT:高等学校新編数学 I||コトク ガツク シハン スガク I  
 VT:VT:高等学校新編数学 A||コトク ガツク シハン スガク A  
 NOTE:1: 平成 9 年 1 月 31 日 文部省検定済 高等学校数学科用  
 NOTE:A: 平成 9 年 2 月 15 日 文部省検定済 高等学校数学科用  
 NOTE:教科書の記号・番号: 1: 数 I632. A: 数 A656  
 AL:井川, 満||イカ, ミツル <DA08417537>

